

令和4年度事業報告

令和4年度は、2年1月に国内で初確認された新型コロナウイルスによる感染拡大が続き、日本の社会、経済が新型コロナウイルスに翻弄された「コロナ禍」の三年目となった。

このような中で協会活動も、人との接触機会の削減要請等の制約を受けて、事業中止の止むなしに至ったものもあったが、Webを積極的に活用する等、事業形態の見直しを行うとともに、東京海上日動火災保険(株)と締結した「循環型社会形成の実現とSDGsの推進に関する包括連携協定」に基づく研修事業の実施や千葉県の「ちばSDGsパートナー」制度に登録し、協会員のSDGsへの取組気運を醸成する等、新たな視点からの事業展開を図った。

また、喫緊の課題である災害廃棄物処理に関して、特に、大規模災害時の相互応援の仕組みづくりについて関東地域協議会等において検討を進めた。

I 自主事業部門

1. 調査研究・広報事業

- ① 各種印刷物等の配布、ホームページへの掲載、委員会・部会・講演会等を通じ、随時、会員に法改正・行政施策の情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、令和4年10月末までに収集した事例をホームページに掲載するとともに、「令和4年ヒヤリ・ハット事例」を会員に送付するなどして、その活用を促した。

2. 労働安全衛生推進事業

令和2年度からの3年間を実施期間とする「第2次労働災害防止計画」を策定し、「令和4年の死亡者数をゼロにする」、「令和4年の休業4日以上死傷者数を平成24～26年の実績平均に比して20パーセント以上減少させる」を目標とし、労働災害防止に向け取り組んだ。

また、(公社)全国産業資源循環連合会から提供された「当業界における労働災害に関する

る報道情報」および「参考となる類似事故とその対策情報等」を会員へ周知した。千葉県内の労働災害の発生状況等について情報収集・取り纏めを行い、ホームページに掲載するなど、会員企業だけに留まらず、広く安全衛生に関する情報提供に努めた。

3. 研修事業

(1) 協会独自の研修会等（東京海上日動火災保険(株)との包括連携協定に基づくもの等）

① 熱中症対策セミナー2022

開催日 令和4年6月15日（水） Webセミナー

参加者 60名

講師 東京海上日動火災保険(株)

コマーシャル損害部ロスプリ&テクノロジー戦略チーム（LTS）

東 愛子 氏

② メンタルヘルスセミナー

開催日 令和4年8月 3日（水） Webセミナー

参加者 48名

講師 中央労働災害防止協会 健康快適推進部 審議役 三觜 明 氏

③ サイバーセキュリティ対策セミナー

開催日 令和4年9月 8日（木） Webセミナー

参加者 20名

講師 東京海上ディーアール(株)

ソリューション創造本部 サイバーセキュリティラボ

上級主任研究員 池上雄一郎 氏

講師 東京海上日動火災保険(株) 千葉支店

千葉中央支社長代理 西森 和昭 氏

(2) 協会・千葉県産業廃棄物処理業協同組合の共催による研修会等

○県内視察研修

開催日 令和5年3月 7日（火）

視察先 新井総合施設(株)（君津市） 君津環境整備センター 管理型最終処分場
太陽建設(株)（市原市） 市原エコセンター 中間処理施設

参加者 32名

(3) 許可申請に関する講習会等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが実施する令和4年度許可講習会は、オンライン講義を事前に受講し、その後、会場で試験を受ける2段階形式の講習会とされた。協会は、講習会試験の実施について、受付業務及び運営業務に協力した。

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
産廃収運	令和4年 6月 8日 (水)	ポートプラザちば	63名
	令和4年 6月 9日 (木)	ポートプラザちば	61名
	令和4年 7月28日 (木)	ポートプラザちば	63名
	令和4年 8月25日 (木)	ポートプラザちば	60名
	令和4年10月 5日 (水)	ポートプラザちば	55名
	令和4年11月30日 (水)	ポートプラザちば	59名
	令和5年 2月 9日 (木)	ポートプラザちば	51名
特管収運	令和5年 3月 8日 (水)	ポートプラザちば	65名
産廃処分	令和4年 6月17日 (金)	ポートプラザちば	46名
	令和4年10月 4日 (火)	ポートプラザちば	39名
特管処分	令和4年 7月27日 (水)	ポートプラザちば	47名
	令和5年 2月 8日 (水)	ポートプラザちば	41名

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会試験

課 程	開 催 日	会 場	人数
収集運搬	令和4年 6月 8日 (水)	ポートプラザちば	68名
	令和4年 6月 9日 (木)	ポートプラザちば	69名
	令和4年 7月27日 (水)	ポートプラザちば	61名
	令和4年 7月28日 (木)	ポートプラザちば	66名
	令和4年 8月24日 (水)	ポートプラザちば	69名
	令和4年10月 4日 (火)	ポートプラザちば	62名
	令和4年10月 5日 (水)	ポートプラザちば	47名
	令和4年11月29日 (火)	ポートプラザちば	65名
	令和4年12月13日 (火)	ポートプラザちば	53名
	令和5年 2月 8日 (水)	ポートプラザちば	66名
	令和5年 2月 9日 (木)	ポートプラザちば	60名

課 程	開 催 日	会 場	人 数
収集運搬	令和5年 3月 9日 (木)	ポートプラザちば	66名
処 分	令和4年 6月16日 (木)	ポートプラザちば	48名
	令和4年12月14日 (水)	ポートプラザちば	41名

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会試験

開 催 日	会 場	人 数
令和4年 6月16日 (木)	ポートプラザちば	69名
令和4年 6月17日 (金)	ポートプラザちば	69名
令和4年 8月24日 (水)	ポートプラザちば	61名
令和4年 8月25日 (木)	ポートプラザちば	65名
令和4年11月29日 (火)	ポートプラザちば	62名
令和4年11月30日 (水)	ポートプラザちば	65名
令和4年12月13日 (火)	ポートプラザちば	61名
令和4年12月14日 (水)	ポートプラザちば	62名
令和5年 3月 8日 (水)	ポートプラザちば	65名
令和5年 3月 9日 (木)	ポートプラザちば	64名

4. 適正処理及びリサイクル等の普及推進事業

(1) 相談指導事業

- ① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せについては、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。
- ② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

(2) 広報啓発事業

- ① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、304点の応募があり、審査の結果、「危険だと言える勇気が思いやり 仲間と共有 安全意識」が最優秀賞に選ばれた。協会ホームページのトップページに掲載するなど、協会の各種広報活動に使用していく。
- ② 「協会報」(2022 夏号、2023 冬号)を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。
- ③ 協会ホームページの内容を充実させ、排出事業者等に最新の情報提供を行った。

【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】

- ④ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。
- ⑤ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じて協会活動の広報啓発を行った。
- ⑥ 第17回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。
- ⑦ 「エコメッセ2022 in ちば」に協賛した。
- ⑧ ちばアクアラインマラソン2022に協賛した。
- ⑨ 第22回千葉県廃棄物適正処理推進大会

千葉県廃棄物適正処理推進大会に実行委員会の一員として参画した。

開催日 令和5年1月18日(水)

場 所 千葉県教育会館

内 容 <演奏会> 令和4年度県民芸術劇場公演

～めぐる旋律 未来へつながるハーモニー～

出演 千葉交響楽団メンバーによる弦楽四重奏

<表彰式典> 当協会からは下記の8名が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

伊藤 公子 氏 (共同リサイクル(株)、株桂エコシステム)

高橋 政行 氏 (船橋興産(株))

『千葉県環境生活部長感謝状』

荒井 始 氏 (J&T環境(株))

小川 潤一 氏 (高俊興業(株))

中村 浩之 氏 (株カンナ)

古澤 孝之 氏 (株東亜オイル興業所、株アールズファクトリー)

三岡 直仁 氏 (千代田鋳碎(株))

盛田 巨樹 氏 (千葉オイレッシュ(株))

参加者 99人

主 催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社)千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・

千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財)千葉県環境財団・

(一社)千葉県環境保全協議会・(一社)千葉県建設業協会

- ⑩ 県民講座としての、一般県民を対象とした施設見学会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

- ⑪ 跡見学園女子大学と産学共同による広報啓発事業を令和4年8月23日(火)から9月20日(火)にかけて実施した。協会から「資源循環業を人気のある業種にする

ためには”～産業廃棄物処理業イメージアップ大作戦!!～”という課題を大学に提示し、この事業に参加した学生約30名が中間処理施設を見学するなどした上で、課題解決案についての報告会が開催された。

(3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）等普及推進事業

（公社）全国産業資源循環連合会発行の『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』及び建設六団体副産物対策協議会発行の『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』を有償頒布した。産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票（マニフェスト）』

直行単票	114,940セット（前年度：104,640セット）
直行連続	138,000セット（前年度：145,500セット）
積替単票	3,160セット（前年度：3,270セット）
積替連続	2,500セット（前年度：3,000セット）
計	258,600セット（前年度：256,410セット）

『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』

建設単票	123,870セット（前年度：118,970セット）
建設連続	114,500セット（前年度：136,000セット）
計	238,370セット（前年度：254,970セット）
合計	496,970セット（前年度：511,380セット）

(4) 災害廃棄物処理支援等

- ① 県と協会との間で締結した「地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定」に基づき、県からの要請を受けて協会が実施した、令和元年房総半島台風（15号）、東日本台風（19号）及び10月25日の大雨により発生した災害廃棄物の処理に関し「記録と今後の備え」として動画と概要版パンフレットをホームページに掲載し、活用を図っている。
- ② 関東地域における災害廃棄物処理の相互応援について検討を進めた。

(5) 家畜伝染病発生時に殺処分した家畜等の処理支援

県と協会との間で締結した「家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する協定」に基づき、4年度に発生した高病原性鳥インフルエンザに関し、家きんの死体や汚染物

品等の焼却処分等について県から協力要請があり、協力・支援した。

また、3年度に発生した高病原性鳥インフルエンザに関し、県からの協力要請に対する協力会員会社の安全かつ迅速な防疫業務対応が評価され、協会に対し8月26日に知事感謝状が贈呈された。

(6) 排出事業者を対象とするセミナーの開催協力

千葉県主催「千葉県廃棄物リサイクル促進研修会」(Web配信)の開催に協力した。

(7) 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

ホームページ等による情報提供等を通じて、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度の普及促進に努めた。

5. 環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がなかった。

6. 環境学習普及促進事業

県の環境学習担当職員を招き、「千葉県環境学習等行動計画」や他の団体の環境学習への取組状況等について情報収集、意見交換を行った。

また、コロナ禍で中断していた、社会人向けの環境学習動画(DVD)「資源循環が社会を変える!? ～プラスチックリサイクルの現場を見てみよう～」の制作を再開、環境学習普及促進特別委員会での協議を重ね、「木くず編」に続き「プラスチック編」を作成した。

II 受託事業部門

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務(千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定員数を減らした会場開催セミナーとWebセミナー(動画配信)を開催した。

会場開催日 令和4年 8月30日(火) 参加者 260名

動画配信期間 令和4年10月 1日(土)～令和4年11月30日(水)

※ 配信期間中は、24時間視聴可能とした。

視聴回数	Vimeo	209回
(再生回数)	YouTube	128回
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物処理業に係る遵守事項等について 講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室 技師 山口 幹人 氏 ・産業廃棄物処理業における労働安全衛生について 講師：千葉労働局 労働基準部 健康安全課 地方産業安全専門官 加藤 護 氏 ・「脱炭素社会」における廃棄物処理業の役割と機会 講師：(有)サステイナブル・デザイン 代表取締役 西原 弘 氏 	

2. 許可申請に係る相談業務（千葉県委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る相談、優良認定制度に係る相談、新規許可申請に関する説明会を実施した。

許可申請に係る相談時及び、新規許可申請に関する説明会時に「産業廃棄物の種類」と「建設廃棄物の種類及び主な内容」のリーフレット、「水銀廃棄物の適正処理の推進のためのパンフレット」（環境省作成）を配布し、石綿含有廃棄物や水銀廃棄物の取扱いについて周知徹底を図るとともに、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

・新規許可申請	840件進達	延べ	1,385件相談
・更新許可申請	1,720件進達	延べ	2,334件相談
・事業範囲変更許可申請	206件進達	延べ	333件相談
・変更届出書	974件進達	延べ	1,515件相談
合計	3,740件進達	延べ	5,567件相談
・優良産廃処理業者認定制度に係る相談			52件
・新規許可に関する説明会	24回開催	出席者	48名
・更新手続きお知らせの通知			2,176件

Ⅲ 収益事業部門（収益事業）

1. 県収入証紙売捌き事業

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、

県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。

令和4年度売捌き高 129,230,000円（令和3年度146,646,200円）

IV 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

(1) 委員会

① 総務企画委員会

令和5年度事業計画及び予算について、現状に対応した事業内容の見直しや新規事業の検討等を実施した。

② 広報研修委員会

跡見学園女子大学と産学共同による広報啓発事業を実施した。

③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第22回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考等を実施した。

④ 安全衛生推進委員会

安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集、労働安全に関する表彰及び安全標語の選考等を実施した。

⑤ 環境学習普及促進特別委員会

環境学習に関し県と情報交換・意見交換を行うとともに、資源循環学習動画「資源循環が社会を変える!? ～プラスチックリサイクルの現場を見てみよう～」を作成した。

(2) 部会

① 合同部会

開催日 令和4年10月25日（火）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

開催方法 ハイブリット形式（会場参加とWeb開催）

内 容 <講演> 建廃DX化に向けて

講師：(株)ワイエムエコフューチャー

常務取締役 谷口 敏幸 氏

(一社)東京都産業資源循環協会

建設廃棄物委員会委員

(一都三県建設混合廃棄物意見交換会幹事)

参加者 61名 (会場参加21名、Web40名)

② 賛助会員建設部会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず。

(3) 支部会議

令和4年度は3支部合同で開催し、各支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、行政当局に対する要望事項等をまとめた。なお、会議終了後に開催している懇親会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度も中止とした。

開催日 令和4年9月7日(水)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 86名

議 題 ○「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」

千葉県 環境生活部 廃棄物指導課 副課長 黒須 浩 氏

○交通安全講話 千葉中央警察署 交通官 野口 聖二 氏

○協会より依頼事項

ア. 災害時の協力について

イ. 協会への加入促進のお願いについて

ウ. 組合への加入について

○意見交換

ア. 行政又は協会に対する意見・要望事項について

イ. その他

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

① (公社)全国産業資源循環連合会を經由して主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載し又は直接会員等に配布して、情報提供を行った。

② 千葉県環境生活部廃棄物指導課とは、支部会議等各種会議に担当者の出席を得る

など日常的に意思疎通を図るとともに、個別事項についての意見交換会を行った。

- ③ 千葉県環境生活部循環型社会推進課の主催事業に協力するとともに、環境学習や災害廃棄物の処理などについて、意見交換を行った。
- ④ 環境行政の推進に当たり、県及び柏市からの推薦依頼を受け、千葉県環境審議会委員として岩楯副会長が、柏市廃棄物処理清掃審議会委員として内田専務理事が出席した。
- ⑤ 行政懇談会

産業廃棄物の適正処理を推進するため、日常から行政に協力するとともに、千葉県及び3市（千葉市・船橋市・柏市）と行政懇談会を開催し意見交換を行った。提案要望及び協議した事項は次のとおりである。

開催日 令和4年12月21日（水）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 38名

内 容 ○意見交換

ア. PCB廃棄物の期限内処理について

イ. 千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱について

ウ. 千葉県廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱について

エ. 最終処分場について

オ. 災害廃棄物について

（2）他団体との連携、協力

- ① （公社）全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力した。
- ② 関東地域の都県協会と交流を図り、（公社）全国産業資源循環連合会を通じて国等に対する要望活動を行うとともに、産業廃棄物に関する諸問題について意見交換した。

特に、関東地域協議会（1都7県）の場で、災害廃棄物の処理について、域内での大規模災害時の相互応援に関して検討を進めることで合意するなどした。

・第68回関東地域協議会（Web開催）

開催日 令和4年4月22日（金）

内 容 ○次期役員について

ア. 関東地域協議会 会長・副会長の互選について

イ. （公社）全国産業資源循環連合会役員等候補者の推薦について

○議事

- ア. 令和3年度 事業報告及び収支決算報告
- イ. 令和4年度 事業計画案及び収支予算案
- ウ. 次回の開催地について
- エ. その他

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○講演

産業廃棄物行政の最近の取り組みと

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 神谷 洋一 氏

・第69回関東地域協議会

開催日 令和4年11月25日（金）

場 所 古名屋ホテル（山梨県甲府市）

内 容 ○災害廃棄物の処理（大規模災害時の相互応援等）について

○全国産業資源循環連合会の活動報告

○その他

○講演

産業廃棄物行政の現状と今後の課題

講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課

課長 松田 尚之 氏

・関東地域協議会 災害廃棄物委員会

開催日 令和5年3月6日（月） Web開催

内 容 ○各都県協会と都県との協定の内容について

○相互応援協定書の素案の作成について

・事務責任者会議（4月、10月、3月）に参加した。

③ 一都三県建設混合廃棄物意見交換会に参加した。（6月）

④ （一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会委員として杉田会長が出席した。

⑤ 大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会（環境省関東地方環境事務所主催）に参加した。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

（1）機会を捉えて、協会役員等により、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に

対して事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図った。

(2) 新入会員と協会役員との懇談会

- 開催日 令和4年12月21日(水)
- 場 所 協会会議室
- 参加者 新規正会員 6社、新規賛助会員 2社
- 内 容 ○協会の組織・主な事業について
○新規入会の特典について
○意見交換
ア. リチウム電池等の中間処理施設への混入問題
イ. サーキュラーエコノミーに対する協会の取組み 等

4. 顕彰・表彰事業

- ① 会長表彰として、功労者1名、優良事業所1事業所及び優良従事者32名を表彰した。

【功 勞 者】 武元 直樹 氏 ((一社)千葉県産業資源循環協会)

【優 良 事 業 所】 木材開発(株) 市川工場 (市川市)

【優 良 従 事 者】 ○産業廃棄物処理業務10年以上従事、年齢30歳以上

油布 悠 氏 (ワシダ(株))

押 浩一 氏 (大平興産(株))

佐野 元紀 氏 ((株)東亜オイル興業所)

花澤 正人 氏 ((株)市原ニューエナジー)

早人夕起夫 氏 ((有妻本商店))

吉野 伸一 氏 ((有妻本商店))

宮内 一哉 氏 (阿部建設(株))

勝呂 大介 氏 (エコシステム千葉(株))

深井 健 氏 (エコシステム千葉(株))

鈴木 英樹 氏 ((株)市原ニューエナジー)

古田有紀子 氏 ((株)カンナ)

大川原寛樹 氏 ((株)ワシダ)

大島 伸也 氏 (高俊興業(株))

佐久間龍正 氏 (新和環境(株))

川上 真弥 氏 (高俊興業(株))

○産業廃棄物処理業務20年以上従事、年齢40歳以上

大島 良幸 氏 (株カンナ)
南 光一 氏 (株ダイセキ)
松山 武司 氏 (株東亜オイル興業所)
奥田 慎一 氏 (エコシステム千葉株)
佐藤 薫 氏 (エコシステム千葉株)
小熊 清文 氏 (株佐倉環境センター)
山本 条司 氏 (高俊興業株)
金子 智 氏 (株佐倉環境センター)
久保 栄一 氏 (高俊興業株)
山口 眞澄 氏 (大平興産株)
荒井 始 氏 (J&T環境株)
大村 貴弘 氏 (J&T環境株)
嶋野 信夫 氏 (大平興産株)

○産業廃棄物処理業務30年以上従事、年齢50歳以上

前川 浩一 氏 (株ダイセキ)
大槻 由克 氏 (株東亜オイル興業所)
小檜 久司 氏 (株市川環境エンジニアリング)
為 博明 氏 (高俊興業株)

② 会長表彰として、労働安全優秀賞8事業所、労働安全特別賞4事業所、労働安全功労者賞2名及び安全標語最優秀賞1名を表彰した。

【労働安全優秀賞】 臼井水産(有) (南房総市)
エコシステム千葉株 (袖ヶ浦市)
オリックス環境株 船橋工場 (船橋市)
J&T環境株 千葉事業本部 (千葉市)
(有)妻本商店 (鴨川市)
(株)東亜オイル興業所 (八千代市)
日東消毒株 (木更津市)
ビジネス環境整備株 (銚子市)

【労働安全特別賞】 (株)市原ニューエナジー (市原市)
(株)カンナ (市原市)
千葉美装株 エコRCセンター (南房総市)
千葉美装株 エコウッド (安房郡鋸南町)

- 【労働安全功労者賞】 佐藤 和幸 氏（有妻本商店）
吉田 龍 氏（株カンナ）
- 【安全標語最優秀賞】 池田 尚也 氏（エコシステム千葉株）
- ③（公社）全国産業資源循環連合会会長表彰として、功労者1名、優良事業所1事業所及び優良従事者9名を推薦し、表彰された。
- 【功 労 者】 平澤 雅彦 氏（大平興産株）
- 【優 良 事 業 所】 株イケダ（館山市）
- 【優 良 従 事 者】 石井 輝夫 氏（株ナリコー）
伊菅 智 氏（臼井水産有）
篠塚 潤一 氏（千葉産業クリーン株）
齋藤 英樹 氏（株市原ニューエナジー）
野場 崇 氏（エコシステム千葉株）
白戸 健一 氏（株京葉興業）
盛田 巨樹 氏（千葉オイレッシュ株）
加藤 伸晃 氏（大平興産株）
相生 卓也 氏（大平興産株）
- ④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）3名を推薦し、表彰された。
- 安池慎一郎 氏（株東亜オイル興業所）
林 義己 氏（高俊興業株）
加瀬 邦雄 氏（株ナリコー）

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

（1）第10回定時総会

開催日 令和4年5月27日（金）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

出席者 31社 31名、委任状160社、議決権行使書72社

議 事 <議案> 第1号議案 令和3年度事業報告について
第2号議案 令和3年度決算について
第3号議案 任期満了に伴う役員の選任について

以上の議案は、原案のとおり承認された。

<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について
第2号 令和4年度事業計画について

第3号 令和4年度予算について

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

令和4年 5月10日(火) 常任理事会、理事会
5月27日(金) 理事会
同日 臨時理事会
6月28日(火) 常任理事会、理事会
7月26日(火) 常任理事会、理事会
9月27日(火) 常任理事会、理事会
10月25日(火) 常任理事会、理事会
11月22日(火) 常任理事会、理事会
12月21日(水) 理事会
令和5年 1月26日(木) 常任理事会、理事会
3月28日(火) 常任理事会、理事会

6. その他の事業

○賀詞交歓会(千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催)

開催日 令和5年1月26日(木)
場 所 三井ガーデンホテル千葉
参加者 121名

【重要事項】

令和4年4月1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結
令和4年6月7日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結
令和4年6月17日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結
令和4年6月17日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結
令和4年7月11日 高病原性鳥インフルエンザに係る防疫対応への協力が評価され、千葉県知事感謝状

【 会員の変動状況 】

(令和5年3月31日現在)

区 分	期 首	入 会	退 会	期 末	増 減
正 会 員	406	10	10	406	0
賛助会員	38	3	3	38	0
計	444	13	13	444	0

(正会員内訳)

収集運搬のみ	214社
中間処理のみ	34社
最終処分のみ	2社
収運・中間	144社
収運・最終	4社
中間・最終	1社
収運・中間・最終	4社
排出事業者その他	3社

【理事等】

(令和5年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	杉田 昭 義	杉田建材(株)
副会長	山 本 隆	(株)日美産業
副会長	大 賀 実	高俊興業(株)
副会長	岩 楯 保	(株)市川環境エンジニアリング
専務理事	内 田 文 雄	(一社)千葉県産業資源循環協会
常任理事	新 井 隆 太	新井総合施設(株)
常任理事	高 橋 政 行	船橋興産(株)
常任理事	安 池 慎一郎	(株)東亜オイル興業所
常任理事	大 池 秀 和	エコシステム千葉(株)
常任理事	吉 田 理 和	(株)富澤商店
理 事	平 澤 雅 彦	大平興産(株)
理 事	加 瀬 邦 雄	(株)ナリコー
理 事	池 田 美恵子	(株)イケダ
理 事	宮 内 美津子	(株)ミヤウチ
理 事	保 田 優 太	保田産業(株)
理 事	水 内 郁 夫	(株)京葉興業
理 事	小 池 陽 二	(株)タケエイ
理 事	伊 藤 公 子	共同リサイクル(株)
理 事	坂 本 剛	太陽建設(株)
理 事	瀬 田 英 博	(株)エコ・マイニング
理 事	小 林 敬 司	J & T環境(株)
理 事	碓 隆 司	(株)アンカーネットワークサービス
理 事	永 島 克 彦	(一社)千葉県商工会議所連合会
監 事	田 中 昌 夫	税理士法人 千葉中央会計事務所
監 事	小 出 直 紀	(株)佐倉環境センター

参 考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、資源循環や適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進するとともに、産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図ることを目的に設置されている。

基金運営委員会は、この基金の適正かつ効果的な運営を図るために、次のとおり会議を開催した。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和4年7月26日(火)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

議 事 (1) 令和4年度環境保全対策基金事業計画および進捗状況について
(2) その他

○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和5年1月26日(木)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

議 事 (1) 令和4年度環境保全対策基金事業計画の進捗状況について
(2) 令和5年度環境保全対策基金事業計画(案)について
(3) その他

【 委 員 】

(令和5年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委 員 長	瀧 和 夫	千葉工業大学名誉教授
副委員長	葉岡部 循 一	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	岩 田 元 一	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	城之内 聖 康	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	高 橋 俊 浩	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	山 本 隆	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	大 賀 実	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長
委 員	岩 楯 保	(一社)千葉県産業資源循環協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として40名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を期して、以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(2名加入)

2. 定時総会

第10回定時総会を令和4年5月13日(金)に開催し、令和3年度事業報告及び収支決算報告、令和4年度事業計画及び収支予算並びに役員を選任は、原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を11回(うちWeb開催7回)開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 他都県協会との交流

- (1) 全国産業資源循環連合会青年部協議会
 - ・第23回通常総会(ハイブリッド形式)
 - ・第12回カンファレンス(岐阜県高山市)
- (2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会 関東ブロック
 - ・第18回通常総会(Web開催)
 - ・賀詞交歓会(千葉県)
 - ・幹事会(Web開催)
- (3) 茨城県産業資源循環協会青年部会との交流会

5. 研修会等

- (1) 「元調査官が徹底解説!働き方改革遵守、監督署調査を乗り切るための『実務的』労務管理のコツ」
講師:社会保険労務士法人ネクステップ 代表社員 山崎 裕樹 氏
- (2) 「経営者・管理職必見!ケーススタディ別
労務トラブル対応で困らない『実務的』労務管理のコツ」
講師:社会保険労務士法人ネクステップ 代表社員 山崎 裕樹 氏

(3) 社労士による規程チェック

講師：社会保険労務士法人ネクステップ 代表社員 山崎 裕樹 氏

6. 千葉県中小企業団体青年中央会

全国中小企業青年中央会創立30周年記念式典において、全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞した。また、総会、その他関連行事（Web開催）等に参加した。

女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として9名で構成している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しての活動となった。

1. 女性部会

女性部会を2回開催し、意見交換会等を行った。

2. 他都県協会との交流

(1) 関東地域協議会女性部会 総会（書面議決）に参加した

(2) 「第1回 全国女性部会のつどい on the Web」に参加した。